



2007年10月22日

2 0 0 8 年 6 月 期
第 1 四 半 期 決 算
補 足 資 料

株式会社 構造計画研究所

【本資料についての注意】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

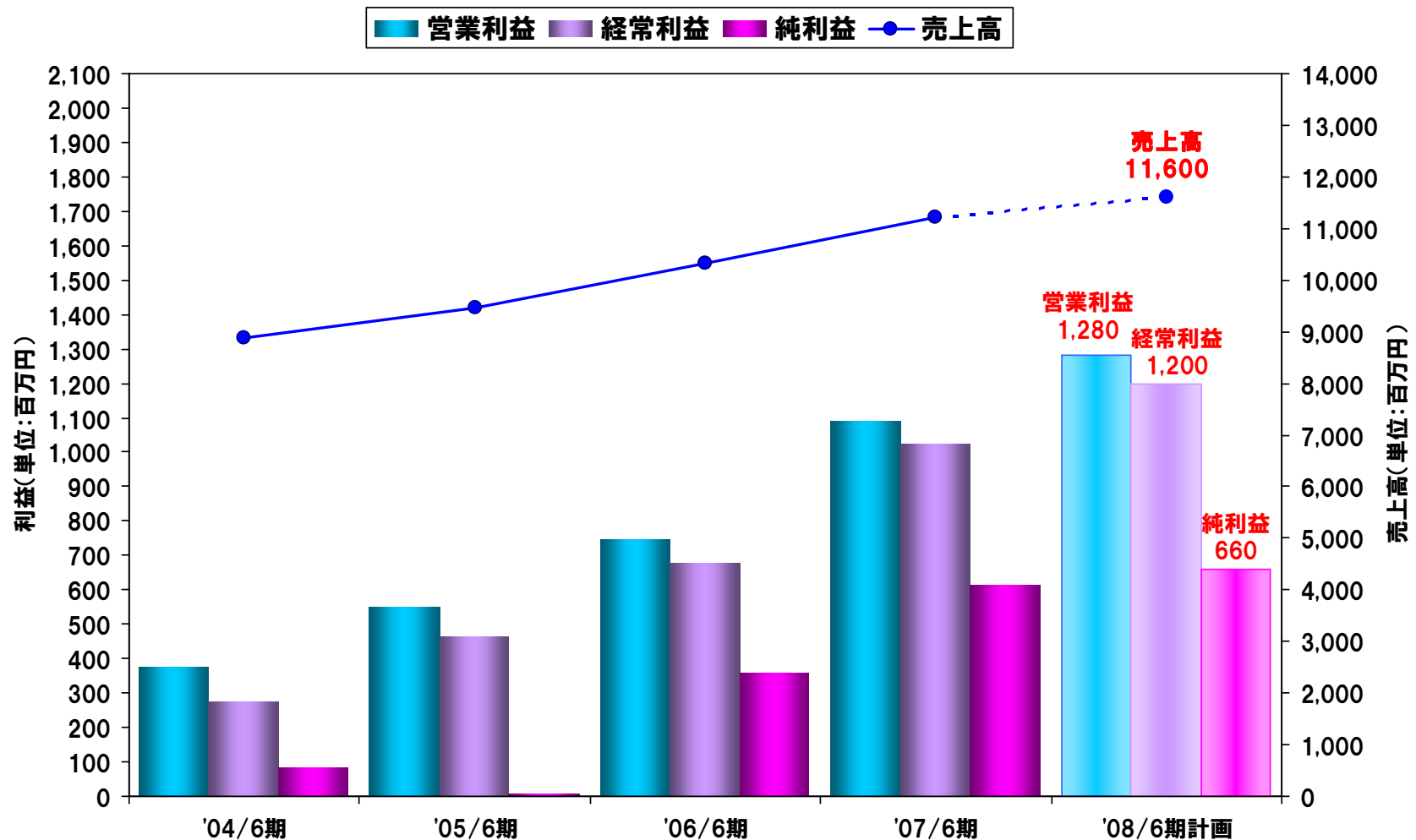
アジェンダ

1. 2008年6月期 業績計画 2
2. 2008年6月期 通期業績の進捗状況 4
3. 1 Q決算の概要 11

(注) 本資料の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

1. 2008年6月期 業績計画

過去4年間の通期業績推移及び2008年6月期通期業績計画

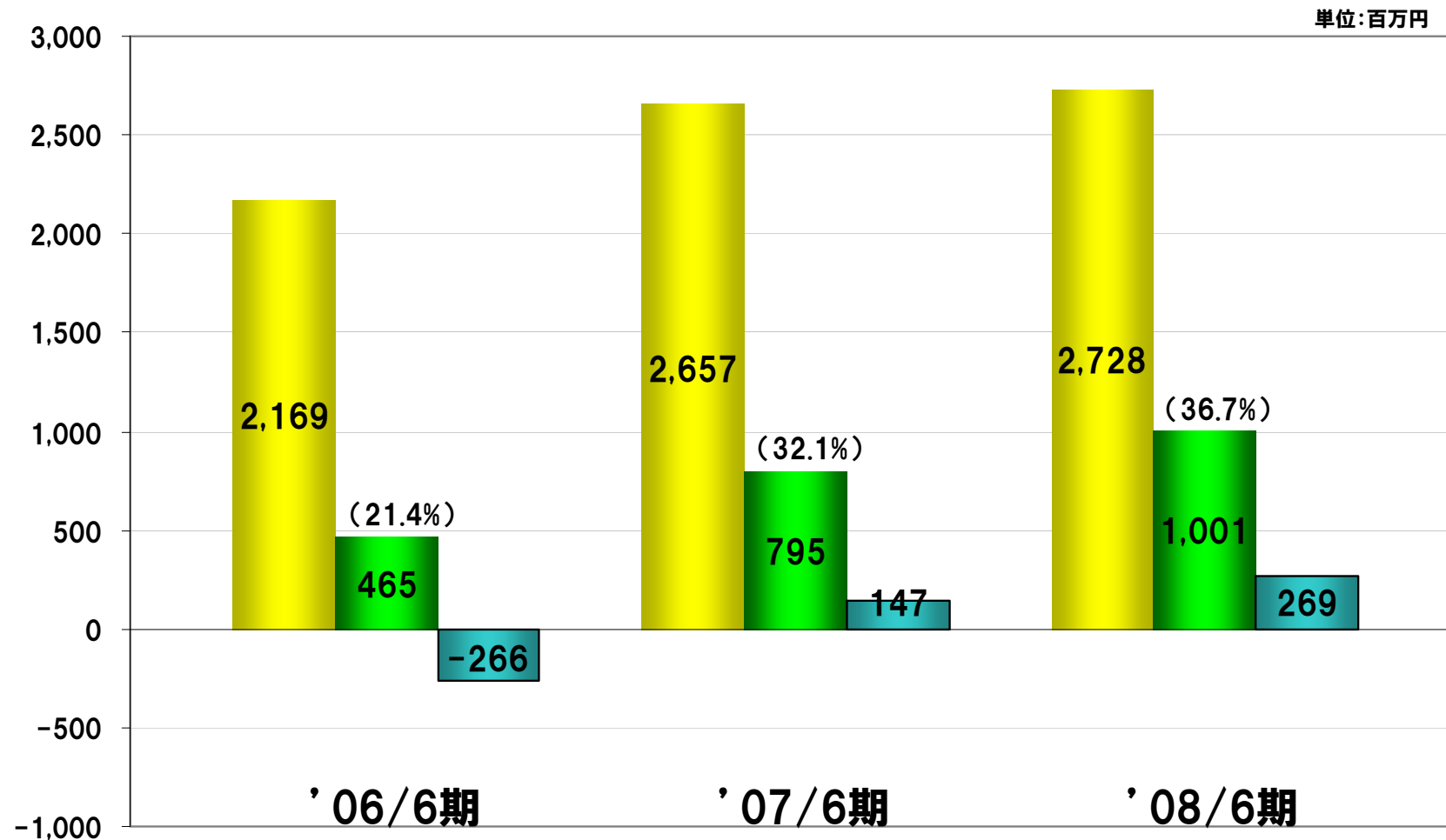


⇒ **今後も計画通りの受注確保、およびプロジェクト管理体制を維持していくことで、当期計画は十分に達成可能であると認識しております。**

2. 2008年6月期 通期業績の進捗状況

1Qにおける知価創出高と知価創出利益の比較

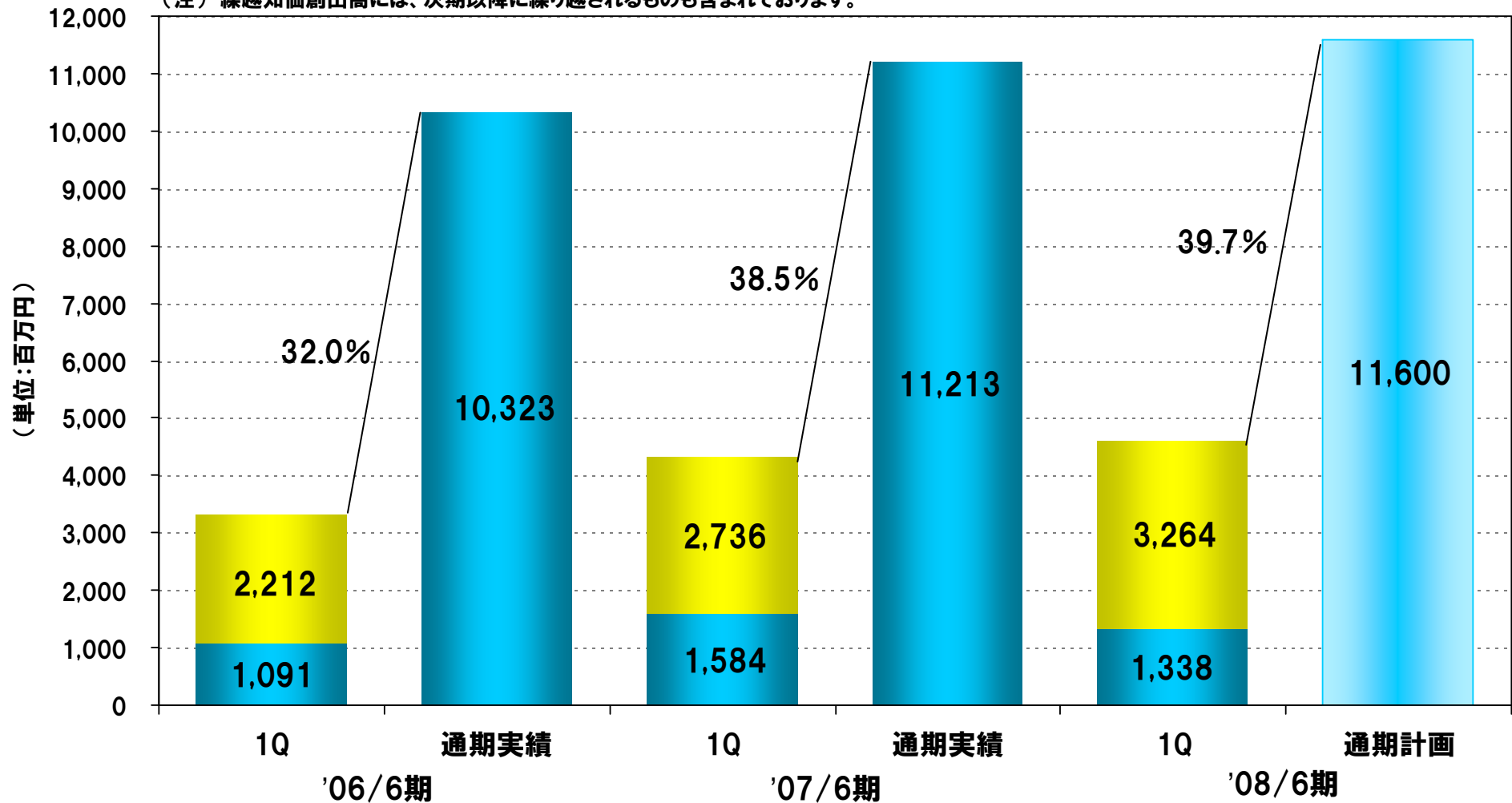
■ 1Q知価創出高 ■ 1Q知価創出利益 ■ 1Q全社知価創出利益



通期売上高に対する1Qまでの進捗状況

■ 売上高 ■ 繰越知価創出高

(注) 繰越知価創出高には、次期以降に繰り越されるものも含まれております。



＜参考＞当社独自のプロジェクト管理指標について

システム構築、コンサルティングサービスなど、受注から成果品を引渡し売上計上時まで数ヶ月を要すプロジェクトが事業の大半を占める当社は、業績値の季節変動が生じやすい業態といえます。

そこで当社では、プロジェクトが、どの程度進捗しているのかを金額換算した**“知価創出高”**及びその利益を示す**“知価創出利益”**と称する2つの内部経営指標により、プロジェクトの進捗過程での業績を定量化し、月次の業績管理、計画／実績トレースを実践しております。

“知価創出高” : 受注金額にプロジェクトの進捗度合いを掛け合わせたもの

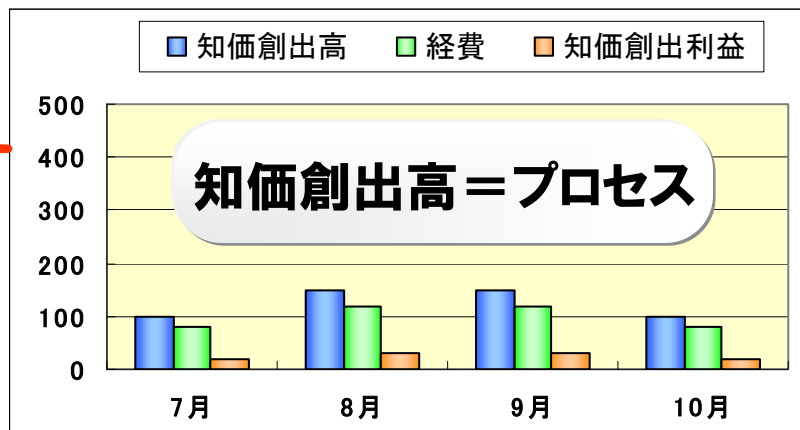
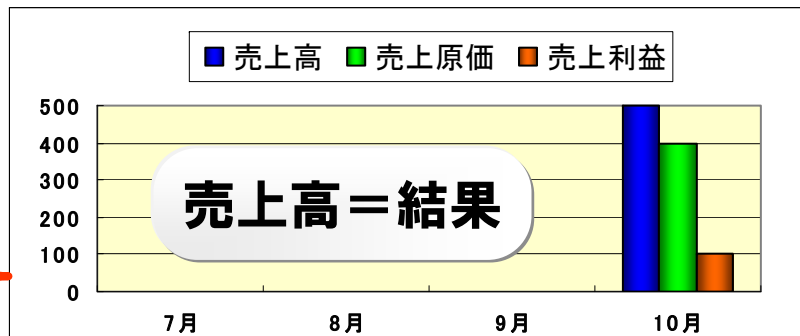
“知価創出利益” : 上記よりプロジェクト経費を差し引いたもの(販管費を除く)

※現時点における知価創出利益予測は、計画人件費を基に算出しておりますが、当社では当年度業績連動の賃金制度を導入しているため、年度末においては人件費が変動することにより利益が変動する可能性があることを予めご了承ください。

<参考>プロジェクトの業績管理についての例

7月に500万円のプロジェクトを受注、10月に納品、売上計上するケース

	7月	8月	9月	10月	合計
受注高	500				
売上高				500	500
売上原価				400	400
売上利益				100	100
知価創出高	100	150	150	100	500
経費	80	120	120	80	400
知価創出利益	20	30	30	20	100

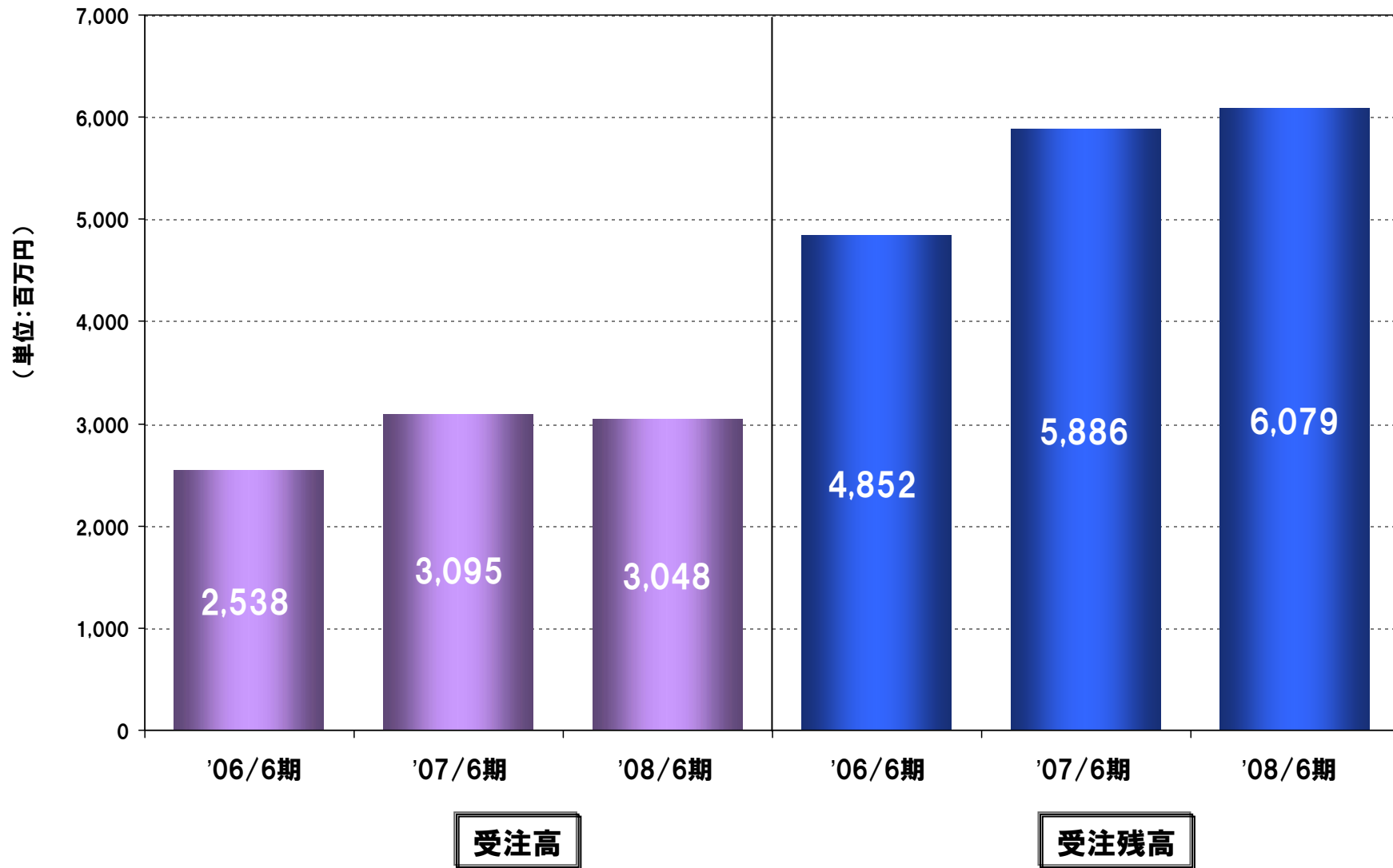


1Q繰越知価創出高

1Q繰越知価創出利益

月次の知価創出高及び知価創出利益は、上図のようにプロセス管理しており、1Qに売上計上されなかったプロジェクトの知価創出高及び知価創出利益は、次期繰越として管理しております。

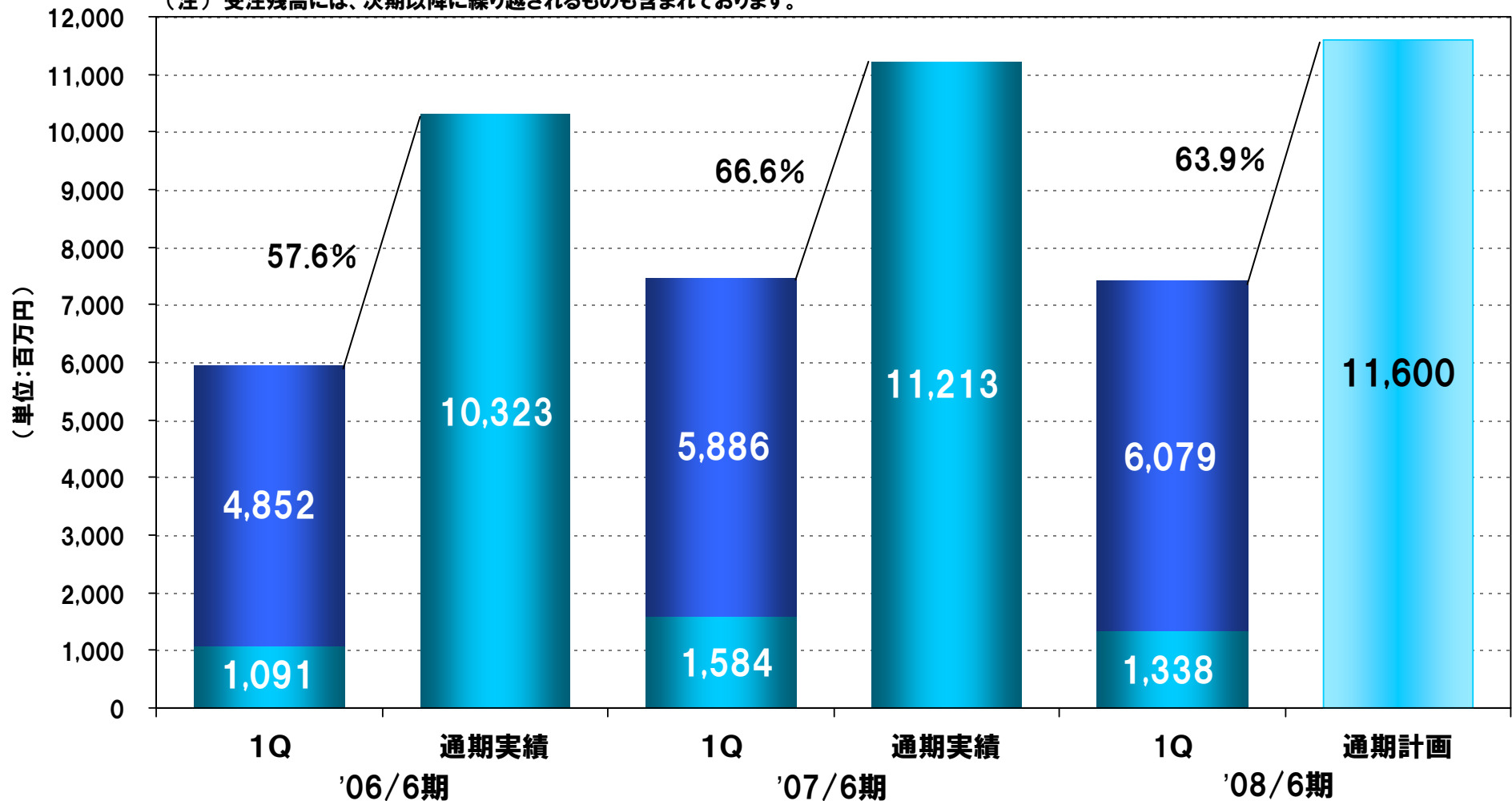
受注高・受注残高前年同期比較（1Q）



通期売上高に対する1Qの受注状況

■ 売上高 ■ 受注残高

(注) 受注残高には、次期以降に繰り越されるものも含まれております。



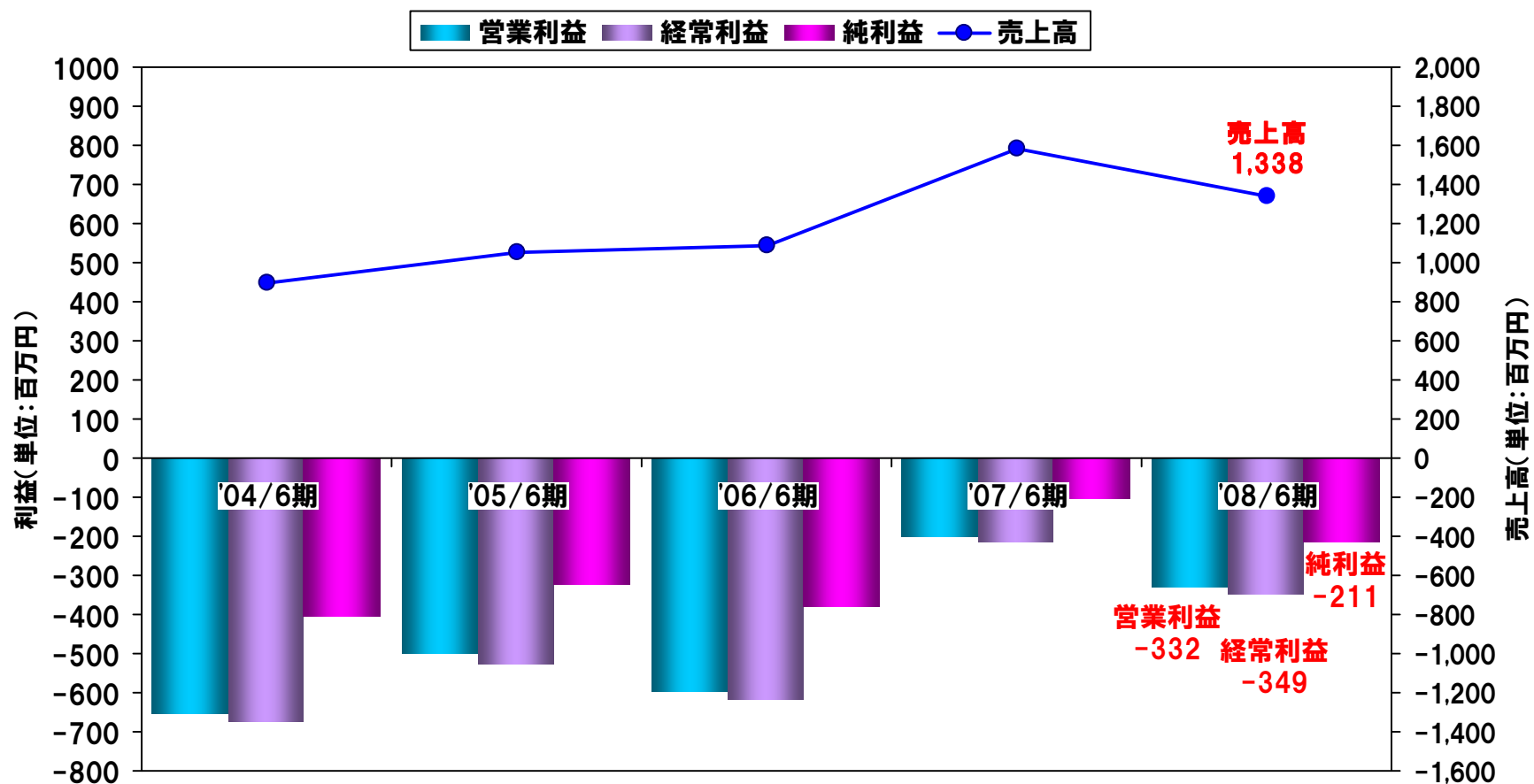
3. 1Q決算の概要

1Q決算の概要

単位:百万円

	'06/06期 1Q	① '07/06期 1Q	② '08/06期 1Q	③ '08/06期 通期予想	②-① 対前年同期 増減額 (増減率)	②/③ 通期業績 に占める 割合
売上高	1,091	1,584	1,338	11,600	△ 246 (△15.5%)	11.5%
営業利益	△ 597	△ 198	△ 332	1,280	△ 134 (-)	-
経常利益	△ 618	△ 215	△ 349	1,200	△ 134 (-)	-
純利益	△ 380	△ 106	△ 211	660	△ 104 (-)	-

1Qの業績推移



⇒ システムソリューションおよびエンジニアリングコンサルティングによる売上高が高い比率を占めており、これら成果品の引渡しが、顧客企業の多くが決算期を迎える3月末から6月末に集中する傾向があることから、売上高及び経常利益は、3Q以降の割合が高くなる傾向にあります。

比較損益計算書

単位:百万円

	'07/6期 1Q	'08/6期 1Q	対前年同期 増減額 (増減率)
売上高	1,584	1,338	△ 246 (△15.5%)
売上原価	1,134	939	△ 195 (△ 17.2%)
売上総利益	450	399	△ 51 (△ 11.3%)
売上総利益率	28.4%	29.8%	
販売管理費	648	732	83 (12.9%)
営業利益	△ 198	△ 332	△ 134 (-)

➤ 売上高

- ソフトウェア開発業務において、**売上検収基準に変更したことによる売上計上時期の繰り延べ、建築・土木パッケージ販売ビジネスの撤退に伴い減少いたしました。**

➤ 売上総利益

- 売上高は減少いたしました**が、利益性の高いビジネスの増加により、利益率が向上いたしました。**

➤ 販売管理費

- 更なるビジネスの拡大を目指し**営業人員の増加、上海駐在員事務所の稼働により増加いたしました。**

比較貸借対照表

単位:百万円

	'07/6期 1Q	'08/6期 1Q	対前年同期 増減額
流動資産	3,940	4,206	266
現金・預金	433	577	143
仕掛品	1,574	1,810	235
固定資産	7,013	6,908	△ 104
資産合計	10,953	11,115	162
流動負債	4,963	5,348	385
短期借入金※	3,345	3,455	110
固定負債	2,846	2,365	△ 480
長期借入金	1,800	1,396	△ 403
負債合計	7,809	7,714	△ 95
純資産合計	3,143	3,401	257
負債・純資産合計	10,953	11,115	162

- 仕掛品
 - 受注残高(仕掛工事)の増加に伴い増加いたしました。
- 長期借入金
 - 当初計画どおり、有利子負債は着実に減少いたしました。
- 純資産合計
 - 利益剰余金増加により、自己資本比率が向上いたしました。

※ 「一年以内に返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	'07/6期 1Q	'08/6期 1Q
期首残高	386	207
営業活動 C F	△ 881	△ 1,220
投資活動 C F	△ 147	△ 125
財務活動 C F	1,076	1,715
期末残高	433	577

当期CFの主な内訳

➤ 営業活動によるCF

- 税引前当期純利益→△348百万円
- 減価償却費→69百万円
- 売上債権減少→857百万円
- たな卸資産の増加額→△786百万円
- 法人税等の支払額→△356百万円

➤ 投資活動によるCF

- 投資有価証券取得→△71百万円
- 有形固定資産取得→△35百万円

➤ 財務活動によるCF

- 短期借入金増加→1,880百万円
- 長期借入金の返済→△16百万円
- 配当金支払→△157百万円